

ステンドグラスに お肉屋さんも描かれている理由は何？

シャルトルはパリの南西約九十キロ、フランスの穀倉」といわれるボース平野の中心、ウール・エ・ロワール県の県都である。

この町を有名にしているのは、ヨーロッパでおそらく一番大きく優美なゴシック式の大聖堂だろう。

正称を「シャルトル・ノートルダム大聖堂」といい、一〇二二年に造営が始まり、一一九四年の大火災を経て、一二五〇年ごろにほぼ現在の姿となった。

建物は長さ百三十呎、幅三十二呎、天井の高さ三十七呎。二本の鐘楼は正面向かって右が、「古い塔」と呼ばれるロマネスク様式を残すもので高さ百六・五呎、左が「新しい塔」といって一六世紀の初めに付け加えられたもので高さ百五・二呎と、著しい対照を見せている。

シャルトル大聖堂を他の聖堂から際立たせているものは「シャルトルの青」と呼ばれるステンドグラスである。

総面積二千平方呎、総数百七十六枚で聖書の話や中世の日常生活を説明している。

そこには五千人もの人物が登場する。

イエスや聖人ばかりでなく、市井しせいの商人、職人も描かれている。

肉屋さんの姿も見られる。

ステンドグラスの下部には、店頭と牛の解体が描かれたものがある。

店頭には平台の上に肉が載せられており、ソーセージのようなものが見られる。

牛の解体は、おのを振り下ろす姿やつり下げられた牛肉が、青を基調に構成されている。

これは聖堂の建築にあたって、ステンドグラスを寄進した肉屋さんのギルドが寄進者を明らかにするために、自分たちの働く姿を残したのである。

なおこれは余談だが、イエスの誕生の場面には、角と耳を出した牛がのぞき込んでいる姿も見られる。

シャルトルに出かけられたら、数多い図柄の中から探し出してみてはいかが。

ワンポイント知識

「消費期限」や「賞味期限」はどのように設定されるのですか

設定にはその食品に関する知識などさまざまな情報が必要になります。

適切に表示するためにはその食品の特性、品質変化の要因や原材料の衛生状態、製造・加工の過程の衛生管理、容器包装の形態、保存状態などの情報から、製造業者が科学的・合理的な根拠に基づいて、責任をもって設定しています。